

## 平成 21 年度事業計画

### I 方針

本年度で開港 150 周年となる横浜市は、Y-150 開港博覧会をメインに様々な記念イベントを開催するなど歴史的節目を迎え、その経済効果が期待されています。一方、世界経済はアメリカの金融バブル破綻を契機に百年に一度といわれる未曾有の大不況に見舞われ、世相は重苦しい状況が続いております。

高病原性鳥インフルエンザが東南アジアと中国で人の感染死亡事例が発生して、世界的規模の流行が懸念されている中、この度、豚インフルエンザが人に感染して、人から人への感染がメキシコとアメリカで発生して世界各地に感染者が広がり憂慮されております。

獣医学は人と動物の共通感染症の防御と研究に欠くことができません。その識見を備える獣医師は国家資格を有する特別な職業人であり、その社会的使命は極めて重要で、国民生活の安全と安心を担保するために精励することを課せられております。

本年度もその役割を果たすために、動物医療の適正確保と獣医師の研修支援、食の安全確保と家畜疾病情報の普及、人と動物の共通感染症防御、動物福祉の推進、野生動物の保護と災害時動物救護体制の推進などに取り組むと共に、不妊去勢支援事業、公衆衛生関連事業、狂犬病予防事業、教育関連事業、動物愛護事業、身体障害者補助犬事業、動物介在活動など公共性事業に社団法人としての使命を全うするよう力を尽くしてまいります。

本年度の不妊去勢推進事業は、昨年度 2,000 頭以下となった猫引き取り頭数を一層削減するために、横浜市と協働で助成頭数を 3,000 頭に拡大すると共に、飼い主のない猫については市の助成額を増額して実施をいたします。加えて、犬と猫の個体識別を普及推進するために、マイクロチップ装着希望者に横浜市と獣医師会が助成を行う事業も開始いたします。

優良飼い主表彰、市民フォーラム、意見広告掲載につきましても理事会で継続を検討してま

います。新公益法人申請につきましては、平成 25 年を目途として公益社団法人に認定されるよう準備並びに整備に本年度も努めてまいります。

これら事業計画の達成と本会の発展を図るために関係行政機関、関係諸団体並びに会員各位の御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Ⅱ 重点目標

- (1) 獣医師生涯研修の支援推進
- (2) 動物保護対策の推進
- (3) 学校飼育動物支援事業の充実
- (4) 動物医療、獣医事情報の広報提供
- (5) 狂犬病予防活動の推進
- (6) 不妊去勢手術とマイクロチップ装着支援
- (7) 人と動物の共通感染症防御推進
- (8) 動物愛護と福祉思想の普及啓発
- (9) 公務員獣医師の処遇改善と人材確保